

雇用保険二事業に関する懇談会議事要旨

日時：平成24年4月25日（水）10:00～12:00

場所：職業安定局第1会議室（中央合同庁舎5号館）

出席者：川本裕康氏、遠藤和夫氏（日本経済団体連合会）、瀬戸実氏、小林信氏（全国中小企業団体中央会）、橋本浩樹氏（王子製紙株式会社）、間部彰成氏（日本・東京商工会議所）

議題：・平成24年度の雇用保険二事業による事業の目標設定について

議事：

- ・ 事務局より、資料に基づき説明。
- ・ その後、出席者より主に以下のような発言があった。

【主な発言】

- ・ 雇用保険二事業の財政は厳しい。目標をシビアに設定し、事業を絞り込むべき。
- ・ 雇用保険二事業で行うのに適している事業にどうやって重点化していくことを考えていく必要がある。
- ・ 一般会計で行うべき事業なのに雇用保険二事業で行っているものがあるので、今後も更に精査をしていく必要がある。
- ・ 今回から、各事業について、①雇用創出型、②雇用維持型、③就職支援型、④能力開発型、⑤環境整備型と分類してあるが、本来の雇用保険二事業の目的に合わせた事業を行うため、これらの類型に則って財源の振分けや事業の継続について検討をしていくべき。
- ・ 雇用調整助成金や、能力開発型の事業は雇用保険二事業では非常に大事だと思っている。本来はこうしたものにきちんと手当してほしい。
- ・ アンケート調査による目標では「80%」という数値を用いたものが多いが、その水準の根拠が明確でない。これは考え直すべきではないか。
- ・ 現在、雇用保険二事業財政は、失業等給付の財政から借り入れている。今後、借入れをどのように返していくか示していくべき。